

HITOTSUBASHI UNIVERSITY

履修ガイド2013年度版



プログラム

新学期を迎えて、どんな授業を取ろうか履修計画をたてながら心躍 らせていることでしょう。ここではみなさんの授業選びの参考に、 2007年度から一橋大学で始まったジェンダー教育プログラムのカ リキュラムをご紹介します。

GenEPとは?

(Gender Education Programの略)

一橋大学では、2005年度より、全学的なジェンダー教 育の推進、ジェンダー研究の活性化を目指した活動に 取り組んできました。2007年度にはその推進母体とし て社会学研究科内にジェンダー社会科学研究センター を開設し、毎年およそ55科目、4200名の学生・院生 のみなさんにジェンダー、セクシュアリティに関わる さまざまな授業を提供してきました。このような全学 的プログラムはとてもユニークなものであり、多種多 様な分野にまたがってこれほど多くのジェンダー関連 科目を提供できる大学は一橋大学のほかにはありませ ん。将来さまざまな分野で活躍するであろうみなさん が、全学共通教育から各学部・大学院科目にまでいた るこのジェンダー教育プログラムに積極的に参加され ることを期待しています。

ジェンダー社会科学研究センター内GenEP部門

http://www.gender.soc.hit-u.ac.jp/

GenEPはジェンダー理論の学習を支援します。みな さんが男女共同参画社会の実現をめぐる問題に気付き、 解決に必要な知識、能力、手法を身につけるためのカリ キュラムを提供します。GenEPの道案内を頼りに、自 らの関心をおおいに生かして、それぞれ自分のジェンダ 一教育プログラムを組み立て、授業を履修してくださ U)



- ○ジェンダーや男女共同参画にかかわる基礎 的知識を身につけ、その理念と方法を体系 的に修得する
- ○さまざまな専門領域にジェンダーの視点を **積極的に導入し、市民社会を解明する視座** を構築する

ジェンダーを授業の主軸とする科目群。導入的科目から発展的科目へという積み上げ式の履修で す。ジェンダーや男女共同参画にかかわる基礎的素養を身につけることを第一の目標にしています。 さらに発展レベルでは独創的かつ先端的な研究の基礎となる理論や方法、当該研究分野に関する 包括的な知見の修得をめざします。

ジェンダーがとりあげられる学際的な科目群。基幹科目群、および全学的な教育活動と連携してい ます。既存の社会科学・人文科学の枠組み・体系をジェンダーの視点から問い直していきます。

緩やかなスロープ?連携?

積み上げ式の基幹科目群と学際的な連携科目群の二つの科目群を相補的に 履修することができます。全学共通教育、学部教育から大学院修士・博士 後期課程の教育にいたるまで、緩やかなスロープを上るように学んでいけ るカリキュラムがつくられています。

キャリアデザイン?

ジェンダーや男女共同参画についての素養は、自分自身の価値を高め、将 来像を思い描くことを助け、みなさんが市民社会や企業において構想力を 発揮していくための力となるはずです。

※ 労働・経営・ジェンダー?

2005年に行われた「一橋大学における男女共同参画に関する学生の意識 実態調査」で多くの学生から受講希望のあった「労働とジェンダー」、「経営 とジェンダー」をテーマとした講義が新設されています。ジェンダーをよ り身近にとらえ、自らのキャリアデザインを具体的に描いてみてください。

>新しい社会科学?

それぞれの専門的知見を深め研究を発展させていくなかで、ジェンダーの 視点から既存の社会科学のディシプリンに揺さぶりをかけ、新しい社会科 学の地平を拓くことをめざしています。

履修者の声

これから社会人として生きていくうえで 大切なことを考えるよい機会になった。

性について、 これほど学問的に

深く考えたことはなかった。 新しい思考法を 身につけられた気がする。

大学の中にも 「男は」「女は」という 言説があふれている。

自分の中の偏見や先入観の存在に 気づくことができた。 ちまたにあふれる性に関する情報を 批判的に見ることができるようになった。

たくさんの学生、 特に男子学生に、 受けてほしいと

思った。

学内リンク

一橋大学には、学生生活で困ったこと、悩んでいること、就職のこと、なんでも相談できる場所があります。 学生支援センター http://www.hit-u.ac.ip/shien/counseling/shien.html

学生相談室

第2講義棟 1 階西側「いまここ」HP http://www.hit-u.ac.jp/soudan/counseling/

■キャリア支援室

http://www.hit-u.ac.jp/shushoku/career_support/

https://sites.google.com/a/r.hit-u.ac.jp/ careersupport/

■ハラスメント相談室 第1講義棟1階東側 http://www.hit-u.ac.jp/sekuhara/soudan.html

セクシュアル・ハラスメントガイドライン

http://www.hit-u.ac.jp/sekuhara/guideline.htm 相手の望まない性的な言動やジェンダー(性別)役割を押し つけることはセクシュアル・ハラスメントになります。 -橋大学はその防止と排除のための措置、また問題が生じた 場合の適切な措置のためのガイドラインを定めています。

ヒューマンセクソロジー

【共通/夏-火2】

村瀬幸浩

男女が互いに人権を尊重しつつ手を携えて生きる社会の実現について、性 (Sexuality)の分野に引き寄せて考えます。青年期の性的教養としての性の 生理、エイズ・性感染症などの性の病理を学び直すとともに、性の多様性、性の暴力など、「人権」としての性を追求します。

ジェンダーと人権

【共通/冬-月4】

辻村みよ子

社会や法におけるジェンダー(性差)、セクシュアリティの意義や課題について、人権論の視点(「ジェンダー人権論」)からアプローチします。憲法や女性差別撤廃条約、男女共同参画社会基本法等を踏まえて、日本の男女共同参画(ジェンダー平等)の現状と課題を総点検し、人権論としてのジェンダー問題を、政治・雇用・家族・学術分野等の領域でとに具体的に検討します。

ジェンダーから世界を読む

【共涌/冬-木3】

越智博美/オムニバス講義

さまざまな時代、地域、言語文化を専門とする講師陣が、「ジェンダー」という視点を共有して、「世界」のありようを多角的に読み解くリレー講義です。 いろいろな言語文化のなかのジェンダーを読み解いていきます。

ジェンダーと社会

【社・基礎/夏-火3】

佐藤文香

ジェンダー研究の基礎概念をおさえた上で、家族・労働・性愛・暴力などのテーマごとにジェンダー視角から社会へとアプローチする方法を学んでいきます。

アメリカ社会史特論

【社・発展※/夏-水2】

鈴木周太郎

植民地期から現代にいたるまでのアメリカ合衆国の歴史をジェンダーの視角から概観します。家庭と女性、女子教育、参政権運動、社会改革運動、戦争と女性、女性性/男性性の構築といったテーマについて、歴史の大きな流れと関連づけつつ検討します。

家族社会学

【社・発展/夏-木3】

木本喜美子

現代社会がかかえる問題をあきらかにするために、家族の歴史変動過程を重視し、その把握と解析方法をめぐって理論的立場を異にする見解に検討を加えていきます。ジェンダー・アプローチが焦点となります。

ジェンダーとセクシュアリティの心理学

【社・発展/冬-水2】

柘植道子

ジェンダーとセクシュアリティにまつわる問題を心理学の視点からアプローチします。セクシュアル・マイノリティ、ジェンダー・ステレオタイプ、ジェンダー役割負担、性役割態度、性差、ジェンダーとメンタルヘルス、心理学研究におけるジェンダーバイアスなどのトピックを扱います。

ジェンダー論

【社・発展※/冬-火3】

佐藤文香

ケア・国家・軍隊・ポルノグラフィ・法など、ジェンダー関係の再編をめぐってフェミニズムの中に蓄積されてきたいくつかの争点を、理論的立場の相違として考察していきます。

労働とジェンダー

【社・発展※/冬-金3】

木本喜美子

労働の現実的な変動諸過程に対する幅広い専門的知識の獲得をめざして、転換期における企業社会の編成、若者就労問題、過労死問題やグローバリゼーション、ワークライフバランス、企業の社会的責任など、ジェンダーの視点から論じます。

学部 連 携 科 目 群

全学共通科目

頻度	曜日・時限	講義名	担当者	
0	夏一水2	教養ゼミナール	大河内泰樹	
0	夏一木2	歴史学	石居 人也	
*	夏一木4	男女共同参画時代のキャリアデザイン	西山 昭彦	
0	夏·冬一集中·金4	まちづくり(2013夏・冬)	林 大樹	
0	冬一月4	英語圏文学VI	越智 博美	
0	冬一火1	現代スポーツ論	坂 なつこ	
0	冬一火3	英語圏地域文化論(イギリス)	中井亜佐子	
0	冬一火4	英語圏研究入門(イギリス)	吉野 由利	
0	冬一水2	造形美術論 I	隠岐由紀子	

学 部

頻度	学部・区分	曜日・時限	講義名	担当	省
0	経・発展	冬一月・水2	労働経済学	川口	大司
0	法・基礎	冬一月・水2	憲法第一(人権)	只野	雅人
0	社・導入	夏一木2	社会研究入門ゼミ	伊藤	るり
*	社・導入	夏一木4	社会研究入門ゼミ	佐藤	文香
0	社・導入	冬一月4	社会研究入門ゼミ	森村	敏己
0	社・導入	冬一木2	社会研究入門ゼミ	貴堂	嘉之
0	社・基礎	夏一月3	スポーツ社会学の基礎	坂な	ここ
0	社・基礎	夏一水2	国際社会学 I	伊藤	るり
0	社・基礎	夏一木3	ヨーロッパ社会史総論	阪西	紀子
0	社・基礎	夏一金2	人間環境論	林	大樹
0	社・基礎	夏一金3	市民社会論	高田	一夫
0	社・基礎	夏一金4	政治思想	田中	拓道
0	社・基礎	冬一火1	アメリカ社会史総論	貴堂	嘉之
0	社・基礎	冬一火3	政治学	中北	浩爾
0	社・基礎	冬一火4	教育の歴史	太田	美幸
0	社・基礎	冬一水2	社会学理論	多田	治
0	社・発展	夏一月3	国際社会と文化	鄭	暎惠
0	社・発展※	冬一木3	社会調査特問	木本喜	美子
0	社・発展※	冬一金3	福祉社会論	高田	一夫
0	社・発展※	冬一金4	比較政治	田中	拓道

◆基幹科目◆

社会科学のなかのジェンダー

【夏-木2】

貴堂嘉之・佐藤文香/オムニバス講義

既存の社会科学/人文科学のディシプリンとジェンダー研究とを融合させて、 ジェンダー視点を組み入れた社会科学の新たな可能性を切り拓くことを目的 としたオムニバス形式の講義です。

社会学/地球市民とジェンダー〉

【夏-金2】

木本喜美子

英語圏で高い評価を得ているジェンダーの社会学に関するテクストを輪読し、ジェンダー研究の基礎知識を確認するとともに、21世紀の社会学の課題について討議によって深めます。

文芸思想研究

【冬-水2】

井川ちとせ

「後期資本主義社会における性アイデンティティ」と題し、ポストモダン以降 のマルクス主義フェミニズムの可能性について検討します。

平和とジェンダー/社会学

【冬-木4】

佐藤文香

ジェンダー研究の洋書講読を行います。平和に対するアプローチの独自性や課題について考察していきます。

◆連携科目◆

頻度	学部・区分	曜日・時限	講義名	担当	绪
0	法	夏一火4	交涉文化論特殊問題第三	吉野	由利
0	法	夏一金4	国際人権法	村岡	啓一
0	社	夏一火4	地球市民の形成(教育の社会史)	太田	美幸
0	社	夏一火4	グローバル化と移動社会	多田	治
0	社	夏一火4	アメリカ研究	貴堂	嘉之
0	社	夏一火4	アジア思想史	坂元び)ろ子
0	社	夏一水2	トラウマと地球社会	宮地	尚子
0	社	冬一水2	地球社会と生命	宮地	尚子
0	言社	夏一火4	欧米言語文化論(英語圈) VI	吉野	由利
	言社	夏一火4	欧米言語文化論(英語圏)VI	吉野	由

<講義におけるジェンダー関連の問題を取り上げる目安>

★:講義全体をジェンダーの視点から構成する

◎:ジェンダーを講義の一つの柱とする

ジェンダーについて 1,2回取り上げる*は学部・大学院共修。

委細は各授業のオリエンテーションで確認してください。また履修登録の際には、 学習計画ガイドブック(学部) /学生便覧講義要項(大学院)に従って下さい。